

急性心筋梗塞

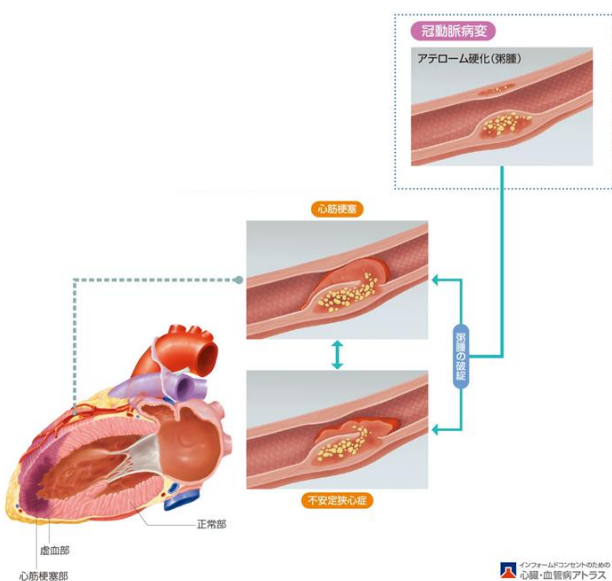
急性心筋梗塞は命に関わる確率が 2 割以上あるとされている怖い病気です。心臓を養う動脈である冠動脈が突然閉塞して心臓の一部への血流が遮断されて発症します。多くは胸が苦しくなるのですが、実は、下顎、首、肩、腕、胸、背中、みぞおちまでの範囲のうち、比較的広い範囲で痛みや重苦しさを自覚します。

典型的には冷や汗が出て気分が悪くて動けません。数分以内に血流が再開して症状が治まれば狭心症発作で済みますが、閉塞したままだと症状は治まらず心臓の組織が壊死して心筋梗塞になります。冠動脈の内側に出来た粥腫(じゅくしゅ)という不安定な塊が破綻して血液が固まって突然血管が閉塞します。

この冠動脈が閉塞して心筋梗塞になるか、僅かでも血液が流れて狭心症で治まるか、という不安定な状況を急性冠症候群と言います(挿絵参照)。



循環器内科部長
竹中 洋幸



心筋梗塞の急性期には心不全を起こしたり、危険な不整脈を起こしたり、稀ですが組織が弱って心臓に穴が開いたりすることで生命の危険にさらされます。組織の壊死が完成するのに約半日近くかかるので、発症早期はできるだけ早く血流を改善させるために緊急でカテーテルによる冠動脈の造影検査を行ってバルーン拡張やステント(金属でできた網の筒)留置による血行再建処置が行われることが多いです。当院では循環器内科医が常駐して24時間365日、緊急でカテーテルが実施できる体制を引いて、年間約200名の心筋梗塞患者さんを診療させていただきます。

弱った心臓と身体が回復するまでには時間がかかります。発症早期から他職種の職員が関わって心臓リハビリ(少しずつ運動量を増やしながらか、再発予防に必要な事柄を学ぶプログラム)を実施して退院後も安心して少しでも普段通りの生活が出来るようになって頂きます。初回の心筋梗塞で合併症が無ければ、通常約2週間で退院できますが、大きな持病があったり、2回目以上の心筋梗塞の方では治療に難渋することが多いです。

心筋梗塞の発症の原因は、生活習慣が関わる、喫煙・高コレステロール血症・高血圧・糖尿病が言われていて、後ろの3つは肥満が関連していることが多いです。また、男性の発症が多いことが分かっています。健康長寿を目指して予防に努めましょう。

病院にお越しの際はマスクの着用をお願いします

コロナが落ち着いてきても、インフルエンザが流行しています。新型コロナ対策で、マスク着用は浸透してきたかと思います。病院では、インフルエンザやコロナといった感染症で受診するだけではなく、がんや糖尿病など、感染するリスクの高い方や感染すると重症化するリスクの高い方と感染させるリスクの高い方が混在します。もちろん、熱があるなどの申し出て頂いた方は、他の人に移す恐れがある病気の可能性があるため、できるだけ院内での滞在時間が短くなるようにしています。

しかし、受診したときの検査では陰性だったり、何も症状はなかったりしても、後で症状が出たときには、他のかたにすでに移していたかもしれないのが感染症です。移さない、移らないために、患者さんをはじめ、来院されるかたは、マスクを着用してお越しください。



感染管理認定看護師 篠原 晃子

クリスマスおかずサラダ



材料 [2人分]

- ブロッコリー 1 株
- ミニトマト 15 個
- モッツアレラチーズ 100g
- バジルソース 大さじ 1



作り方

- 1 野菜を洗い、ブロッコリーは切り分け下茹でする。
- 2 モッツアレラチーズは一口大に切る。
- 3 野菜、チーズを器に盛り、バジルソースをかける。

クリスマスの季節ですね。今回のレシピは、クリスマスカラーを用い、彩りよく仕上げました。チーズのなかで、モッツアレラチーズは食塩量が比較的少なく、たんぱく質が多いのが特徴です。メインおかずが少ないときは、サラダにたんぱく質食品を入れるといいでしょう。筋肉量の低下を感じている方に、ぜひ取り入れていただきたい一品です。 管理栄養士 西野

枚方公済病院

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。